

「平泉出前教室」管内31小学校で実施！

今年度、「県南教育事務所管内『世界遺産 平泉出前教室』」を管内の約4割の小学校（管内76小学校中31校）で実施しました。本教室は、「世界遺産『平泉の文化遺産』について、児童の興味・関心・理解を促すとともに、郷土に誇りを持ち、文化財を愛する態度を養う。」ことを目的としています。

昨年度、新規事業としてスタートし、管内11小学校のべ416名の児童に「平泉出前教室」を行いました。本格実施の今年度は、昨年度の約3倍となる管内31小学校のべ1,229名の児童に行いました。

「平泉出前教室」は、県南教育事務所 社会教育主事が小学校に出向いて実施するものです。クイズと講義の2本立てで、1時間程度の内容です。「社会科」や「総合的な学習の時間」の他に、「保護者・祖父母参観日」や「地域への学校開放日」等でも実施しました。

児童の感想には、「岩手には、すばらしい宝物があることが分かった。誇りに思う。」や「岩手に生まれてよかった。」等の声がありました。



県南の子どもたち、金色堂を見たことがある？！

「平泉出前教室」時に、管内31小学校の児童（5・6年生）1225人に聞きました。家族と「中尊寺 金色堂」を見に行ったことがある人？ 結果は、410人で約34%でした。（ちなみに「東京ディズニーランド」に行ったことがある人は、785人で約64%でした。）

学校行事等で「平泉現地学習」を実施している学校は、今回「出前教室」を実施した管内31小学校中12校でした。この人数を加えると「金色堂」を実際に見たことがある児童は718人で約59%となりました。

県南の子どもたち、岩手の子どもたちに、日本の宝、世界の宝を見せてあげたいものです。

（地域と連携した活動は文部科学省HP「学びの未来」でみることができます。）

<http://manabi-mirai.mext.go.jp/>

学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業

～管内社会教育事業には復興予算が使われています～

国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」は東日本大震災からの復興に向けて、地域の方々の学習を促すことや子供たちへより良い成育環境を整えることを通じて、地域コミュニティの再生を図る事業です。管内市町で行われている主な取組をご紹介します。

【奥州市】 学校支援地域本部事業

学校の多忙化解消と、地域の教育力を高めるため、『『できる人』が『できる時』に『できること』をする』考え方で、地域で学校を支える体制づくりを進めています。図書室の整備や読み聞かせ、学校ホームページの更新、学校行事や授業の補助などを行いました。



（図書ボランティア）

【金ケ崎町】 家庭教育学級

乳幼児のいる家庭からは、「子どもと一緒になかなか運動ができないから一緒に楽しめる運動をしたい」等の要望があり、今年度は抱っこしたまま体を動かす「ベビーダンス」を実施しました。ママも赤ちゃんもストレス発散！



（ベビーダンス）

【一関市】 放課後子ども教室事業

「地域全体で 子どもを見守るまちづくり」を基本理念として、地域の方々からの協力をいただき、安全・安心に過ごせる居場所として市内21教室で実施しています。学習支援や遊びの他に、地域の方や保護者も参加できる行事（沢登り、登山、郷土食づくり）なども行いました。



（親子行事）

【平泉町】 教育振興運動

平泉町内の児童・生徒のための教育水準の向上を目指し、「郷土に誇りを持ち、明日の平泉を担う子どもたちを育もう」をテーマに、子ども、家庭、学校、地域、行政が相互に連携・協力し、より良い教育環境の整備を目指しています。



（父親による読み聞かせ会）